

コロナ禍で真面目に働く教職員に なぜ賃金格差が必要？

評価・育成システム でボーナスに格差

システムの廃止 賃金リンクの撤回を

6月30日にボーナス（期末・勤勉手当）が支給されました。「勤勉手当」には昨年度「評価・育成システム」の評価結果が反映されています。

①全教職員から3%ピンハネ

条例に定められた勤勉手当は給与月額95%です。ですから、新規採用者や臨時的任用職員の成績率は95%のままです。（以下右下図参照）

ところが、全教職員から3%をピンハネするため、A評価の人でも92%に引き下げられます。

②上位者に加算、

下位者からさらにカット

ピンハネされたお金は、上位（SS・S）評価の人に加算する財源となります。「さらにB・C評価者に対する減額分は、優秀教職員表彰者等のうち上位評価者への加算の財源に合算されます。」

「評価・育成システム」賃金リンクは、大阪府教育庁の目的とする「学校の活性化」や「教職員の資質向上」から大きく外れ、大阪の教育に悪影響を与えています。

とりわけ、行事やカリキュラムの変更、消毒作業など、

コロナ禍の対応に追われる中での「評価・育成システム」実施は、教職員にさらなる負担をかけています。ピンハネしたお金で格差をもたらすのではなく、今必要なのは、真面目に働く教職員全体への賃金アップです。泉北教組は、これからも「評価・育成システム」の廃止、賃金リンクの撤回を強く求めています。

2021年度6月期勤勉手当における参考モデル					
モデル設定【教育職給料表（小学校・中学校）】					
モデル	職階	年度末年齢	給料月額（円）	成績区分	勤勉手当額（円）
モデルA	教諭	25歳	216,800	SS	304,004
				S	267,957
				A（良好）	231,910
				B	219,306
モデルB	教諭	35歳	320,200	C	206,703
				SS	445
				S	415,544
				A（良好）	359,643
モデルC	教諭	45歳	383,000	B	340,097
				C	320,551
				SS	563,909
				S	497,044
モデルD	教諭	55歳	410,700	A（良好）	430,180
				B	406,800
				C	383,421
				SS	633,488
				S	558,373
				A（良好）	483,258
				B	456,994
				C	430,730

要求実現！

支援学級に網戸設置

高石・高南中

昨年秋の高石市教委と泉北教組障害児教育部の交渉で、「コロナ対策で、換気のため窓を開けたいが、網戸がないので開けると蚊などの虫が入ってくる。網戸を設置してほしい。」との要望が高南中学校から出されていました。7月始めに、高南中の支援担任から「支援の教室に網戸がついた。うれしい！」と連絡がありました。

取石小学校では、3月末に支援学級の床の張り替えが実現しました。これも、障教部の交渉で要望していたものです。

泉北教組2021年度 運動方針採択

緊急事態宣言下で、昨年に引き続き今年度も組合大会は、文書開催となりました。運動方針案に対する投票の結果、今年度の方針は採択されました。

育について、女性部の活動について、大阪市のオンライン授業の実態など、多方面にわたってリアルな実態が語られ、有意義な時間となりました。

お忙しい中参加してくださった皆さん、ありがとうございました。

組合大会で、集まることはできませんでしたが、組合員の皆さんとつながり、生の声を届けてもらうために、初めてオンライン集会を実施しました。

参加者からは、各職場の様子や、「すくすくテスト」のアンケートに寄せられた声の紹介、中学校の英語教

